

市町村名	伯耆町
取組の名称	伯耆町食材供給連絡協議会と連携した食育の取り組み

1 ねらい

伯耆町食材供給連絡協議会と栄養教諭が連携し、地場産物の活用や児童への食育を行い、児童生徒が地域の産物や自然に関心を持ち、生産にかかわる人々や食べ物の命に感謝する心を育むことをねらいとして、取り組みました。

2 日時

伯耆町食材供給調整会議 年12回（毎月1回）

交流給食 年7回

3 場所 伯耆町小中学校

4 対象 伯耆町小中学生

5 内容

【伯耆町食材供給調整会議】

毎月、伯耆町食材供給連絡協議会の会員（地元生産者の方）と会議を行い、翌月に収穫できる野菜、これからの野菜の動向、野菜の活用方法などの話し合いを行いました。生産者の方と意見交換することで、より地産地消を進めることができました。また、生産者ごとに、給食センターに納品していただくことで、新鮮な野菜を使用できるだけでなく、直接、野菜の話を聞くことができます。児童生徒にも、生産や農産物に関する最新の情報を伝えることができました。

大雪で、白ねぎを収穫するのも大変だったよ。でも、甘くておいしいよ！



給食放送で、児童生徒にも伝えよう！

給食メッセージ

平成 30年 2月 7日



☆今日の給食使用食材

鳥取県産	牛乳 豚肉 しめじ わかめ 大豆 小松菜 小型米粉/小麦粉
伯耆町産	みそ 白ねぎ ブロッコリー キャベツ



今週は、雪がずっと降っていますね。ここでクイズです！雪が降ると、野菜が甘くなります。なぜ甘くなるのでしょうか？ ①虫に食べてもらうため ②寒くても凍らないように ③冬眠するから ……正解は②の寒くても凍らないようにです。野菜は、寒さから身を守るために、雪が降ると自然に甘くなります。今日の白ねぎやブロッコリー、キャベツなどの野菜は生産者さんが雪の中からはってきてくださいました。感謝して食べましょう。

毎日の給食放送では、クイズ形式で、楽しく食に関するメッセージを学習します。その中で、毎月の会議や納品の時に収集した情報、生産者の方への感謝の心などを伝えています。

【交流給食】

伯耆町では、地元生産者の方との交流給食を毎年開催しています。平成 29 年度は、町内で 7 回開催しました。生産者の方から直接聞く話に、子どもたちは興味津々です。その中で、生産に対する思いや、みんなの健康を考えて有機栽培に心がけておられる話などを知ることができました。交流を通して地元産物への関心が高まり、生産者の方への感謝の心も育まれています。

けんこう集会



給食人気メニューランキングを発表し、生産者の方の話を行いました。



交流給食



生産の苦労や喜びなどを聞きながら、感謝していただきました。

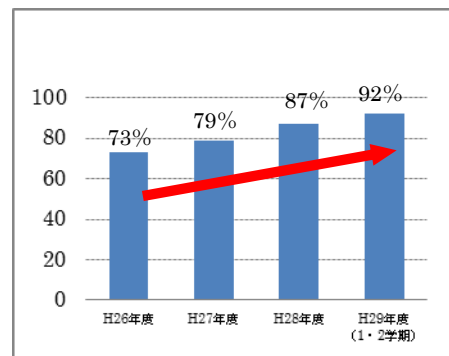


感謝のお手紙「いつもおいしい給食をありがとうございます！」



6 成果と課題

生産者の方と連携することにより、地元食材の使用割合は、年々増加しています。今後は、生産者の方と学校の交流を引き続き行い、食育を進めていきたいと思えます。また、年間で計画的に野菜の栽培をしていただくことで、さらに地産地消率を向上させ、児童生徒に、伯耆町の魅力を伝えていきたいです。



44 品目生産地別使用状況調査結果(県産品%)

